

特色と活力ある学校づくり 山崎中学校

地域・郷土で学ぶ

山崎中学校は、生徒数67人の小規模校ですが、毎日、生徒の明るい笑顔と笑い声が学校中に響きわたり、活気では大規模校に負けない歴史と伝統のある学校です。また、「殻をうち破れみんなが主役」を合い言葉に、体育大会や文化祭、各種ボランティア活動、やまびこタイム体験活動などを通して、生徒自ら主体的に取り組み、自分のよさを発見したり、よさをさらに伸ばしたりなど、「自分探し」を行っています。

今年は、生徒一人ひとりが主役となるような場を次のように設定し、取組の充実を図るとともに、地域に根ざした特色ある学校づくりを目指しています。

◆ボランティア活動を通して

- ①緑化活動 一人二鉢運動など
- ②クリーン作戦 校区空き缶拾い、校内外の清掃など
- ③キャンペーン活動 社会を明るくする街頭活動など

④福祉活動

松寿園での清掃活動や食事介助など

⑤自発的ボランティア活動

朝の清掃活動、あいさつ運動など

◆やまびこタイムを通して

①酪農体験・農業体験

末永牧場で仔牛へのほ乳体験、学校園での茄子や甘藷栽培体験など

②職場体験・平和体験学習

・町内各事業所での1日職場体験学習

・知覧特攻会館や長崎原爆資料館の見学学習など

③福祉体験

松寿園で高齢者との交流など

◆食農教育を通して

①郷土料理作り

②給食会

お花見給食会・お別れ給食会

③1日炊飯遠足

北薩広域公園キャンプ場でのカレー作り

◆学校創意及び

生徒会活動を通して

①学級弁論大会・百人一首大会

②クラスマッチ

③生徒発表(生徒集会時)

④生徒総会・立会演説会

以上、本校の取組の一端を紹介して参りましたが、生徒たちは各種活動の中で、学年の壁を越え、男女一緒に取り組むことで、生徒同士の絆を強く結びともに、自分らしさを発揮しているように感じます。

今後も諸教育機関や地域の方々との連携を密に図りながら、体験学習の充実と生徒の自主的な活動の支援・助言に努め、より本校らしい教育活動を展開していきたいと思ひます。

人権標語

町内の児童生徒から人権に関する標語を募集したところ、すばらしい作品がたくさん寄せられました。その一部を紹介します。

子どもたちは、大人の生活態度や生き方に多くのことを学んでいます。大人自身が常に人権を尊重し、正しいものの見方や考え方を子どもに示すことが大切です。

○やさしさを おやから子どもへ ともだちへ

山崎小学校1年 内之倉 杏菜

○つなげよう みんなの手と手 わたしの手

盈進小学校2年 坂元 愛里

○ともだちは みんなのだから いつまでも

白男川小学校3年 富満 健志

○考えよう 自分がされたら いやなこと

泊野小学校4年 本田 雪乃

○気づこうよ 誰かが気づく その言葉

流水小学校4年 片山 尚子

○自分から 「やめて」と言える その勇氣

終野小学校5年 福島 圭士郎

○その言葉 あなたが言われて どう思う

佐志小学校6年 高代理 穂

○育てよう やさしい心 いい心

平川小学校6年 和泉 佑吏乃

○「比べるな」 世界に僕はひとりだけ

山崎中学校3年 坂元 絵里

○作ろうよ みんなが笑顔で いれる場所

宮之城中学校1年 村田 侑美佳